

Kure College		Year	2022		Course Title	Information Processing Ⅲ	
Course Information							
Course Code		0057		Course Category		Specialized / 選択必修	
Class Format		Lecture		Credits		School Credit: 1	
Department		Electrical Engineering and Information Science		Student Grade		2nd	
Term		Second Semester		Classes per Week		2	
Textbook and/or Teaching Materials		速水謙 他「新情報技術基礎」（実教出版）,プリントなど					
Instructor		Hirano Akira					
Course Objectives							
1. 配列を用いたプログラムを作成できる 2. 組み込み関数の使い方や関数の作り方を理解する 3. ポインタについて知り、使い方や受け渡しにつて理解する 4. ファイルを用いたデータの入出力が行える 5. 構造体・共用体を理解する							
Rubric							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		ユーザ定義関数の応用ができる		ユーザ定義関数の作成ができる		ユーザ定義関数の作成ができない	
評価項目2		文字・文字列の使い方を理解し、文字の関数を作ることができる		文字・文字列の使い方を理解し、文字の関数を使うことができる		文字・文字列の使い方を理解し、文字の関数を使うことができない	
評価項目3		アドレスとポインタを理解し、応用できる		アドレスとポインタを理解できる		アドレスとポインタを理解でない	
Assigned Department Objectives							
学習・教育到達度目標 本科の学習・教育目標 (HB)							
Teaching Method							
Outline		C言語によるプログラミング技術を身につける。					
Style		座学を中心に行い、演習を行いながら理解を深める。					
Notice		プログラミングは慣れと経験が重要です。時間の許す限りなるべく多くの訓練をしてください。課題を持ち帰るためにUSBメモリを持ってくるようにしてください。					
Characteristics of Class / Division in Learning							
☐ Active Learning		☐ Aided by ICT		☐ Applicable to Remote Class		☐ Instructor Professionally Experienced	
Course Plan							
			Theme		Goals		
2nd Semester r	3rd Quarter	1st	引数なしのvoid型関数		関数を作る		
		2nd	引数なし、戻り値のある関数		関数を作る		
		3rd	引数のあるvoid型関数		関数を作る		
		4th	引数あり、戻り値のある関数		関数を作る		
		5th	引数あり、戻り値のある関数		関数を作る		
		6th	配列の使い方		配列の使い方を理解する		
		7th	多重配列の使い方		多重配列の使い方を理解する		
		8th	中間試験				
	4th Quarter	9th	答案返却・解答説明				
		10th	文字と文字列		文字と文字列を理解する		
		11th	文字操作関数と文字列操作関数		文字操作関数と文字列操作関数を理解する		
		12th	アドレスとポインタ		アドレスとポインタを理解する		
		13th	アドレスとポインタ		アドレスとポインタを理解する		
		14th	構造体とデータ構造		構造体とデータ構造を理解する		
		15th	期末試験				
		16th	答案返却・解答説明				
Evaluation Method and Weight (%)							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	Total
Subtotal	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	40	0	0	0	30	0	70
専門的能力	30	0	0	0	0	0	30
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0